

藤沢市社会教育委員会議  
平成30年度6月定例会

議 事 録

日 時 2018年(平成30年)6月29日(金)  
場 所 藤沢市役所本庁舎8階 8-1, 8-2会議室

## 平成30年度藤沢市社会教育委員会議6月定例会

日時：2018年(平成30年)6月29日(金)  
午前10時から正午まで

場所：藤沢市朝日町1-1  
藤沢市役所本庁舎8階 8-1, 8-2会議室

### 定例会

#### 1 開 会

#### 2 議事録の確認

#### 3 議 題

- (1) 教育文化貢献者感謝会表彰候補者の推薦について
- (2) 生涯学習ふじさわプラン2021平成29年度進捗管理について

【非公開】

#### 4 報 告

#### 5 その他

#### 6 閉会

(出席委員)

長田祥男・川野佐一郎・石川美保子・市村杏奈・稲垣一郎・金子節子  
金田麻沙子・長田光子・林良雄・古市勝巳・丸山修由・渡辺智子

(事務局)秋山部長、須田参事、山口主幹、井出主幹、黒沢課長補佐、川口主任、高橋職員

\*\*\*\*\* 午前10時00分 開会 \*\*\*\*\*

長田(祥)議長 社会教育委員会議6月定例会を始めます。  
開会に先立ちまして、欠席委員の確認及び会議の成立について事務局から報告をお願いします。

事務局 藤沢市社会教育委員会議規則第4条により、審議会の成立要件として委員の過半数以上の出席が必要とされておりますが、委員定数15人に対しまして、本日の出席委員は12人、欠員は1人、欠席委員は2人であることから、会議が成立いたしましたことをご報告申し上げます。

長田(祥)議長 傍聴者の確認をお願いします。

事務局 (傍聴者の確認)

長田(祥)議長 本日の資料の確認をお願いします。

事務局 (配付資料の確認)

長田(祥)議長 5月分の議事録の確認をします。事務局へ訂正の連絡はないということですが、この場で何かありますか。ないようなので、確定とします。  
続きまして、「3議題」の「(1)教育文化貢献者感謝会表彰候補者の推薦について」は非公開、その他は公開としますが、ご異議はございませんか。

[異議なし]

長田(祥)議長 では、「(1)教育文化貢献者感謝会表彰候補者の推薦について」、事務局から説明をお願いします。

\*\*\*\*\* 非公開議題 \*\*\*\*\*

長田(祥)議長

続きまして、「(2)生涯学習ふじさわプラン2021平成29年度進捗について」、事務局より説明をお願いします。

事務局

皆様方には進捗管理につきましていろいろとご尽力いただき、ありがとうございました。1年間、ご協議をお願いして、次の段階まで進めたのかなと思っております。抽出事業をどうするか、ある程度目星をつけていただきたいというのが本日のお願いとなります。

資料1は、皆様からご意見をいただいた事業を一覧にしたもので、事業No.ごとにまとめさせていただきました。太枠で囲み網かけがある事業は、抽出が多かった事業です。資料2-1は、資料1の事業に関して皆様方から寄せられた質問、意見等を事業ごとにまとめたものです。資料2-2は、網かけをしていない少数のご意見・ご質問で、先行して各課のほうに投げかけて、回答を得たものになります。本日、これについて細かく議論はいたしませんので、お目通しいただいて、何かあれば事務局へお知らせいただければと思っております。資料3は、プラン全体の意見となります。

本日はこの資料を見ていただいた上で、平成29年度事業の進捗管理を来期にどの程度つないでいくかのご審議をいただければと思っております。よろしくお願ひいたします。

長田(祥)議長

ありがとうございます。この6月で皆様の任期が終わり、7月から新しい社会教育委員にかわり、引き継ぐ際の土台になると思しますので、皆様方のご意見、ご質問等がございましたら、この場でお願いします。

読めば読むほどいろいろな事業を手厚くやられているというのがよくわかり、全部の事業を見たいと感じました。また皆様の出されたご意見とピントが少しずれているものはございませんか。事務局がまとめると、事務局サイドのまとめ方になる可能性もありますので。

川野副議長

確かに基本目標1がフォローアップされておらず、2、3に集中していたので、基本目標1からも事業を選び、3分野にまたがって進捗管理をやったほうがいいのかという意見を出しました。今回丸山委員と渡辺委員から基本目標1から3番と10番がよいのでは、ということで抽出してくださいました。そのお考えをお聞きたいです。

丸山委員

基本目標1、2、3それぞれピックアップしたほうがいいのかという考えから、基本目標1はどれがいいのか悩みました。その中で私の実体験に基づいて3番の生涯学習に関する学習相談事業を選ばせていただきました。市民の問い合わせに対するレスポンスに対して、入り口が非常に見えやすく受け付けしやすい体制を、ホームページ等さまざまなメディアを活用しながら発信してくださると大変ありがたいと感じました。市

民自治推進課と生涯学習総務課などの窓口の連携、市民ニーズに対してワンストップで受け入れてくれるようなものが市民にわかりやすくなると、基本目標1の入り口として、というところがこれまで以上に利用されやすくなり、生涯学習の裾野の広がり役立つのではないかという思いでここに書かせていただいた次第です。

長田(祥)議長

行政に何かわからないことを質問したときに、たらい回しにされてしまうと、市民は活動を続けることができません。ぼんと答えが返ってくると、非常にわかりやすくなる。他市も含めて藤沢市がどういう対応をされているのかということも社会教育委員としては把握しておくべきだと思います。今の丸山委員の実体験をもとにしたご意見はすごく貴重だと思います。ありがとうございました。

丸山委員

自分自身が生涯学習を初めて実体験できたということですから、やはり入り口は大きいと感じた次第です。

長田(祥)議長

ありがとうございます。事業No. 10の鶴沼元気塾について、渡辺委員、よろしくをお願いします。

渡辺委員

事務局から抽出事業として提示しているもの以外で、10番の鶴沼元気塾、24番の子育てボランティア養成講座と47番の生活困窮者自立支援事業(学習支援)の3つを選ばせていただきました。なぜ注目したかという、事務局から提示された事業は、大人が学習する機会についての事業やオリンピック・パラリンピックや文化に関する事業で、その中で地域の人のつながりを強めるといったものでした。地域活性化のテーマが底辺にあるのではと思って10番の鶴沼元気塾という事業の内容を拝見したところ、具体的なことが詳しく書かれており、内容が興味深かったので、詳しく聞いてみたいと思い、入れさせていただきました。

もう1つは、子どもを地域で見っていく、子どもが育つという部分の内容が含まれているものがあってもいいのではないかと考え、10番、47番を入れさせていただきました。

川野副議長

前回の会議で自己評価が2というのがどうなのか、という意見が出ており、このプランの評価は単年度で終わる事業、続けてやるべき事業があり、全ての事業を続けて評価することはできませんが、自己評価2から、来年は3、4を目指そうというプロセスを見てあげたほうがいいのかという事業もあると思います。つまり、継続して評価する事業と、単年度で評価する事業をうまく組み合わせたほうがいいのかという意見を申し上げました。理想形で言うと、最初の評価で低かったものが努力して引き上がったか引き上げられていないかというのを見る方法は何

かできないものだろうかと考えています。

また、遠くない将来、5年から10年ぐらいのスパンで地域における生涯学習事業として取り組んでいかなければならない事業、例えば視点として地域づくり、高齢化、教育福祉などに関する事、学校・社会・家庭の連携問題などについて、将来もう少し事業として広げたり、連携を進めたりすることに対する意識づけというものを、評価の手法を用いて何かできないだろうかと考えました。

長田(祥)議長

ありがとうございます。評価の基準が曖昧なところが相当ありましたが、自己評価の基準を見たときに、事業が違うから一定にすることはできないので、自己評価をした人の基準をここに設けてこうなったという理由づけがもう少しあったらわかりやすかったように思います。

事務局

市村委員がその辺を全体意見で書いてくださっているのです、もしよければご発言をお願いいたします。

市村委員

全体的に見て、成果目標が数値になっているところで、評価の基準と目標設定の仕方が各課でばらつきがあるのかなと思いました。具体例を申し上げますと、事業No.1の⑤のポータルサイト活用事業で、29年度の実績は目標を大きく上回っているにもかかわらず、評価が3となっていて、この数値を目標としているのであれば4でもいいのではないかと感じました。課題に「限られた方の閲覧にとどまっている」とありましたが、一人の人が何回も閲覧するということは、それだけ内容が充実していて、また更新頻度も高く、アクセスしたいと思わせるようなホームページだとも言えるのではないかと思います。数値目標を大きく上回っているのに評価が低い場合は、その理由を書きいただけるとわかりやすいと感じました。

事務局

評価項目が今回は課題に関する改善点でとどまっています。プラン2016ではなぜその評価にしたのか、ということも書き込んでいました。評価と実績の乖離幅が大きい場合に、そういった疑義も出てきますので、もう1回フィードバックしていく必要性はあると思います。評価が出た時点で抽出して聞いていくという作業が必要になるかもしれないと思いました。今後検討させていただきたいと思います。

長田(祥)議長

よろしく申し上げます。ほかにご意見、ご質問等はございませんか。

本日の定例会でこの任期は終了し、来期にこの進捗管理を送るという形になります。来期の委員の皆様がスムーズに進捗管理に移ることができるようにするため、本日の協議をどの部分まで詰めるか事務局からご説明いただけますでしょうか。

事務局 8、9月でこの進捗管理を進めていくためのスピード感が必要なので、どの事業を抽出するか8割方ぐらいまでは絞っていただけると助かります。

長田(祥)議長 事務局が抽出した事業は、基本目標2と3が多くなっていますが、基本目標1というのも重要な柱の1本だというご意見を承っていますが、この点について事務局は何かお考えがありますか。

事務局 この進捗管理は、社会教育委員の皆様としての進捗管理なので、事務局はジャッジする立場にはないと思っております。皆様の総意であれば、基本目標1の事業も入れるべきだと思います。なお、事業No.3の学習相談は、来年度から生涯学習活動推進室が開室し、相談体制をつくる予定でおりますので、29年度の進捗管理においては、開室前であることから、わかりにくさが先行する可能性があります。しかし、逆にそれを指摘していただくというもありかなと思います。

事業No.10の鶴沼元気塾は、地域の人材育成というところに非常に密接にかかわってくる部分ですが、事務局よりも地域の方が主体にやっている事業なので、現場視察やヒアリングでどこまで見られるかというところがありますが、渡辺委員がおっしゃった「子どもがかかわっている」という視点から考えますと、皆様が視察に行く現場としては非常にわかりやすいものになるのではないかと思います。お時間にも限りがあるので、今申し上げたあたりを中心にお話し合いいただけるとありがたいです。

金田委員 生涯学習ふじさわプラン2021を策定した際に、重点的取組に1が入っていない理由を事務局に質問として投げたと思います。お答えでは、プラン2016で人を集めるなど基礎的な部分の取組を重点的に行っていたので、プラン2021ではその人たちの定着や、既にある組織の強化というところを重点的取組として掲げていくというお話があり、意識的に1をなくしていると思っていました。進捗管理も重点的取組に沿って行うのであれば、2と3に重きを置いて、1を抜かしてもいいと思っています。

市村委員 基本目標1、2、3から抽出しようと思って見ましたが、どちらかというと、2と3の中から見たいなと思うものがあり、1から出せませんでした。

石川委員 プラン2021で重点的取組を決めていて、あえて目標1を外して抽出するという理解をしていたので、1から抽出しようという意識がありませんでした。丸山委員からのお話で、実際に市民として動き始めたときには、その入り口というのはやはり重要だと感じました。

渡辺委員 感じ方は人それぞれだと思いますが、視点としてはバランスがとれてい

たほうがいいのではないかと思います。事業の選び方として、一部の視点のものだけを選ぶのではなく、全体を見てからこういう視点もあったほうがいいのではないかとというのがあれば、入れるというつもりで申し上げていました。子どもに関する事業がないと思っていたので、10番ができました。視点のバランスで選んだ結果で、基本目標1にこだわっているわけではないです。

金田委員

満遍ない視点というのは、渡辺委員の中でどういうイメージですか。

渡辺委員

地域づくりや高齢化、家庭教育、福祉など必要な課題がいろいろあります。社会教育として様々なことを実現するために事業全体ができていると思いますが、少し大きく分けると目標が幾つか違うもの、視点がちがうものもあるのではないかと思ったので、全体を見る目みたいなものを選ぶほうがいいのではないかと思います。

市村委員

子どもたちを見る視点でという点では、オリンピック・パラリンピックボランティア養成事業と浮世絵館の事業を選ばせていただきました。オリンピック・パラリンピックボランティア養成事業は、市内の子どもたちを主体としたボランティア事業がこの中にあるのかという部分も聞きたいと考えて選んでいます。浮世絵館も教育振興基本計画に基づく事業の評価で1度見させていただいており、学校の利用が少ないということで、そういった部分も見たいと考えて選ばせていただきました。いろいろな視点からということに子どもたちのことが入っていれば、基本目標1でなくてもいいと考えています。

長田(祥)議長

実際に基本目標1から3まで全部を捉えるというのも1つの意見だとは思いますが、2と3という形で考えていくのもいいのではないかとのご意見も出ております。皆様から出されたご意見は、事業No.27、33、61、68が圧倒的に多いです。27のオリパラに関しては、ワールドカップ、チャレンジカップがあり、来年もプレ大会がある、再来年本番ということを考えていきますと、入れるべき事業ではないかと思います。生涯学習大学市民講師コース事業も、生涯学習大学の新しい拠点が始まるので、リスタートみたいな形で告知できるような体制が整うということでは入れたほうがいい。アートのスペースの事業と浮世絵館の事業は、文化芸術課と郷土歴史課で課が違いますが、同じビル内なので、視察が1回で済むという意見もあります。本日抽出事業を絞るのならば、27、33、61、68を中心に、あとは事務局に委ねて、社会教育委員会議としてはこの4つを柱として抽出するべきなのではないかと感じておりますが、ご意見はありますか。



林委員 委員が抽出した全事業を1つ1つ進捗管理することは、大変難しいと思いますので、多くの委員が抽出した事業をまずは選んでみて、さらに余裕があれば、基本目標1の項目から拾ってみるような方向性をつくってあげばいいのではないかと思います。

長田(祥)議長 多くの委員が出している事業を中心に考えるべきだというご意見が出されましたが、皆様いかがですか。

川野副議長 事務局は我々の労力負担を少なくするよう考慮してくれています。事業数としては、昨年やってきたような形でよろしいのではないのでしょうか。不足している部分はプラスして選択するという方向でいいのではないかと思います。ただ、我々社会教育委員は、事務事業評価の事業評価というのはできるが、事務的な評価というのは非常に難しいです。社会教育委員がぐだす進捗管理の評価が、権威性を持ってやっているということではなく、事業を応援する気持ちでやっているわけで、お互いに応援し合うような進捗管理ですから、相互に心配し合わなくてもいいのではないかと思います。やはり担当課は評価されることを嫌がりますか。

事務局 嫌がるということはないと思います。いい事業だと言っていたことによつて、その事業に自信を持って取り組むことができます。また、前年度出張講座の進捗管理を行っていただき、そこでの意見をもとに、帳票を変える等事務改善も進んでおります。いわゆる点数で評価してジャッジすることだけではなくて、こういう点を変えたらいいとか、こういう点は評価できると言っていただくことは、職員にとつても非常に後ろ盾になることが多いです。

個人的に見たいという事業があれば、ご相談に乗らせていただきたいと思います。ただ、グループで評価していただくということは、委員の皆様が評価し合えたり、いろいろな意見が出るという意味では必要かなと思っています。

川野副議長 モチベーションを上げたり、背中を押してあげるようなヒアリングを行えば、担当部署も勢いづくのではないかと思います。ですから、抽出事業とは別に、プラス新たにチャレンジしてみる事業という形で事務局原案をつくってもらおうということはどうですか。

長田(祥)議長 この辺でまとめたいと思いますが、抽出が多い事業No.27、33、61、68の4つの事業でまずスタートし、こういうのを少しやってみたいということが個人的にありましたら事務局に打診していただき、最終的に決めていくということはいかがですか。これら4事業を平成29年度の進捗管理の抽出事業として来期に引き継ぎたいと思いますがいかがでしょうか。

金田委員 1つ確認ですが、68番は①から④までありますが、一括りにしてよいのか気になっています。

長田(祥)議長 4つの市民センターをすべて回るわけにはいきませんので、事務局のほうで調整をしていただくということよろしいでしょうか。

事務局 片瀬には人材・情報バンクセンターがあり、湘南台はNPOと組んで事業を実際にやっているという意味では、目に見えやすいということは前回説明させていただいているとおりでございます。六会と長後は事業的なものでお示しするのがまだ難しい部分もありますので、時期等を勘案しながら調整してまいりたいと思っておりますので、よろしくをお願いします。

長田(祥)議長 最終的には事務局に委ねるという形で決定していきたいと思いますが、よろしいですか。では、この4つの事業を来期の社会教育委員の進捗管理の抽出事業として決めさせていただきます。ありがとうございました。  
「4報告」に移ります。社会教育委員活動の報告につきまして、図書館協議会の報告について石川委員、お願いします。

石川委員 平成30年度の第1回協議会が6月19日に総合市民図書館でありました。議題(1)として、6月1日に藤沢都心部再生・公共施設再整備特別委員会が開催され、南市民図書館の課題解決についての報告がされたということです。課題としては耐震性とバリアフリーの問題があり、建て替えまでの間の暫定施設を藤沢駅周辺の民間施設に移設することを検討しているとのことでした。(2)として、藤沢市図書館運営方針について、昨年と同じものが5つ挙げられ、運営方針をもとに平成30年度の運営目標が10項目挙げられました。(3)8月に行われた利用者アンケートについて、各図書館のアンケート結果を分析して、今後の方向性が出されました。(4)平成30年度雑誌スポンサー募集の結果は、応募企業数は18社、決定の雑誌数は81誌で、館内で閲覧できる雑誌の表紙カバーに企業の広告を載せる取組で、スポンサーの支払い額としては74万4,474円ということでした。さらに4月と5月の各図書館からの事業報告がありました。

長田(祥)議長 ありがとうございます。  
続きまして、平成30年度神奈川県社会教育委員連絡協議会の総会につきまして、引き続き石川委員からお願いします。

石川委員 平成30年度の総会が6月12日かながわ県民センターで行われました。議事は、平成29年度の事業報告並びに会計報告、平成30年度の

事業計画並びに予算案、平成30年度役員についてということでした。

講演は、聖学院大学の小池先生による「社会教育と社会教育委員の役割とは～行政関係者とのあり方について～」でした。社会教育委員と行政とのかかわりが自治体によって大分違うようで、藤沢はやりやすいまうだなといろいろな事例を聞いて思いました。社会教育と生涯学習の違いについて、学習は個々人が自発的にやるもの、教育はそれに対して意図的に何かの働きかけをするというお話があり、とてもわかりやすいと思いました。

長田(祥)議長

ありがとうございます。金田委員、何かつけ加えることはありますか。

金田委員

社会教育委員あるあるみたいなお話があり、事務局との連携とか、社会教育委員として、1人1人が考え、よりよい社会教育を進めていくためにお話をすることによって、市全体の社会教育が盛り上がっていくということをお話しされて、藤沢市は恵まれているなと感じました。

長田(祥)議長

ありがとうございます。今回の講演は非常にわかりやすくて身になったので、社会教育委員の皆さんに聞いていただきたかったという気持ちがあります。社会教育について疑問に思うことをざっくばらんに意見交換し、理解した上で社会教育活動を行うと、もっと違った目でできるのではないかという印象を受けました。

続きまして、「5その他」につきまして、事務局から何かございますか。

事務局

お配りさせていただいた資料の中に、「学校と地域との協働推進コース」という講座の受講者募集の案内をつけさせていただいています。神奈川県教育委員会から送られてきた資料で、国のほうで推進が図られております学校協働活動推進員(コーディネーター)等の活動についての講座、全4回のご案内になります。学校と地域との協働の推進に関心のある方、誰でも参加できるもので、ご興味のある方はお申込みいただいて、ご参加ください。

長田(祥)議長

ありがとうございます。今回の定例会で任期が終了となります。委員の皆様1人1人にご意見をいただきたいので、丸山委員からよろしく願います。

丸山委員

計4年務めさせていただきました。この会議に参加させていただき、とりわけプランづくりがよい勉強、いい思い出になっております。今後はここで学んだことを一市民として応援して、藤沢市の生涯学習がより発展するように、地域で応援していきたいと思っております。ありがとうございました。

石川委員 公募でこちらに伺いまして、2年たちました。研修などにも参加させていただき、実りのある2年間になりました。ありがとうございました。

市村委員 4年やらせていただき、ありがとうございました。任期は終わりになりますが、これからは市内の保護者として、地域の人間として社会教育、生涯学習にかかわっていきたいと思っています。

藤沢市の市P連が解散し、藤沢の子どもたちのためにつながる会が6月9日に無事発足いたしました。発足の総会と全校交流会には約140名の方に参加していただき、ホームページも立ち上げました。まだスタートしたばかりで内容も非常に薄いものですが、これからいろいろ更新していきたいと思っていますので、ぜひ時々見ていただければと思います。

渡辺委員 2年間委員をさせていただきました。とても参加しやすい会議だと思って参加させていただいております。いつもありがとうございます。いろいろなお立場の皆様のお話が大変参考になり、このような場で皆様とつながりを持つことができたことをとても貴重な機会だと思っています。

個人的にすごく印象に残っているのが視察で、現場を見させていただけるのは大変ありがたいと思っています。ご担当の方のお話が直接聞けるのもすごくありがたかったのと、ご一緒した委員が的確なご意見を出されていたのを横でまとめたりと、とても勉強になる機会を提供していただけるのもありがたいと思っています。

長田(光)委員 1年ですが、大変お世話になりました。周辺でこれだけの人たちが社会教育にかかわっているということを伝えていくのが仕事だと思いながら、また、周辺に社会教育の場があり、子どもたちに生涯教育としてつなげていくこともとても大事なことで大変勉強になりました。何らかの形で校長会の中でも伝えていきたいと思っています。大変ありがとうございました。

金子委員 2年間させていただきました。生涯学習というのは身の回りにありましたが、社会教育というものが明確にわからなかったのが、ここで勉強させていただき、何かのきっかけ、何かの出会いというのはとても大事なことで、地域の人たち、いろんな方たちに伝えなければいけないという使命感をとっても強くしました。ありがとうございます。

古市委員 私はボーイスカウトの人間で、主に青少年関係の人たちとしか話さない立場だったので、視野が狭かったと思っています。また村岡地区で自治会の役員もやっており、そこから見える世界も少し狭くて、全体がよくわかりませんでした。社会教育委員に携わり、特に去年は進捗管理絡みでいろいろなところを見させていただき、いろいろな活動をやっていることを知ったのが一番よかったと思っています。ありがとうございました。

金田委員

皆様、2年間お世話になりました。本当に右も左もわからないままという感じでした。まず社会教育と生涯学習の違いは一体何なのかというのがわかったのが1年たった総会ぐらいで、本当に勉強しながらの機会でした。学んだことを地域で活動している団体さんにしっかりと還元できるように、これからも吸収していければと思っています。ありがとうございました。

林委員

私は体育協会のほうから選考されて出ており、前任者の後任として1年間やらせていただきました。

7月から新しい委員さんが来られ、新しい委員さんと一緒に社会教育委員とはどういうものなのかということ勉強させていただければなと思っています。生涯学習という言葉は聞きますが、社会教育という言葉がなくなってきていますので、社会教育委員というのはどういうことをやっていったらいいのかということを中心に立ち返って勉強させていただき、もう少し頑張っていけたらと思っています。どうもありがとうございました。

稲垣委員

高等学校の立場から参加させていただき、2年のうち、直前に参加できないことが何回か続いたりして、申しわけないと思っています。

学校教育の立場から藤沢市の社会教育、生涯学習の推進について、体系的なところを含めて見させていただき、本当にありがたいと思っています。湘南高校は藤沢市からの入学者が一番多く、家庭の取組やボランティア系の話は、生徒たちが、藤沢市に戻ってきて、将来的には確実にこの中で生きていくのだろうということを常に感じながら会議に参加させていただきました。

外部評価的な部分での進捗管理手法に関しては、県全体でも同じような手法をとっております。しっかりと外部評価として社会教育委員が実際に企画をしている、実働されている方々に直接話を聞けるというのは、非常にいいのではないかと考えています。

期待として、推進室ができるというお話で、学習相談機能というのは市民にとって非常に重要な価値を持っていると思います。インターネット社会と言われているものの、実はインターネットというのは押しつけで、きちんとした形で相談できるものではないので、しっかりと学習相談の機能の推進をしていただけるのは、本当にありがたく思います。2年間お世話になりました。

川野副議長

きのうまで3日間、岡山市に行ってきました。岡山市は、国連の動きを受けてESD教育というのを社会教育、公民館の中で展開して、全国的に評価をされています。国連は今、学習都市というのを言い出してきており、岡山はそれを目指すとっています。社会教育的には非常に進んでいる自治体ですが、藤沢市も岡山には負けないぐらいのことをやっ

るということを言ってきました。

さいたま市は今、市行政と社会教育団体の住民と裁判で争っているという状況です。東京高裁まで持って行って住民団体が勝訴、被告の市が負けたのですが、どちらが勝ったのか負けたのかちょっとわからないような判決でした。市にとっては敗訴ということで、今度最高裁に上告をし、住民団体側も上告をして最高裁で争われ、つい5月の高裁で結果が出ました。

社会教育というのは自治体で展開することが多いので、自治体の考え方一つで、学習の自由や表現の自由というような意味で住民の学習のあり方みたいなことを問うているのですが、自治体との関係というのは非常に大切で、我々は両輪で、お互いにつかず離れずの関係でいかなければいけないと、2年間の中ではそういう反省をしています。

皆さん、本当にたくさん意見を言っていて、副議長の立場では助かりました。2年間ありがとうございました。

長田(祥)議長

今、大学で生け花学の実践と理論の両方を教えています。「学生に何か目標を持たせたい。学生というのは目標を持たばやる」ということで、大学側から藤沢の市展に出すようにと言われました。出すと言った途端に目の色が変わり、結果、2人が秀作賞をとりました。学生たちがすごく一生懸命になる、それが学習であり、やる気になってやると人間は伸びます。私自身も若者に負けたくないと思い、文化芸術の体験イベントや、江島神社でセーリングの選手団を中心とした日本文化体験プログラムをやります。藤沢市民全員が文化人、アーティストになるようなイベントを来年度、企画を通して考えております。

2年間、頼りない議長で本当に申しわけなかったとこの場をかりておわび申し上げます。ありがとうございました。

では最後に、秋山生涯学習部長から一言よろしく願いいたします。

秋山部長

皆様には多くのお時間を割いていただき、生涯学習ふじさわプランを初め、生涯学習、そして社会教育に関してさまざまなご意見をいただいたことを心から感謝申し上げます。きょうのお話の中でも出ておりましたオリンピックというキーワードは、オリンピックを契機にして、地域やボランティアといったところで人がつながっていくことを非常に大きく期待しているわけでございます。オリンピックでつながった人の輪が、オリンピック以降に地域の社会教育や福祉など、さまざまな分野で活躍する1人となり、主体となって輝いていただける社会を目指していきたいというグランドデザインをイメージしております。皆さんからいただいた貴重なご意見等を本市としてもしっかりと受けとめ、今後のプランの進捗管理や当面する地域課題の解決に向けて、主体的に取り組んでまいりますので、今後とも、引き続きのご支援をいただければと思います。今後の皆様の各方面での

ご活躍を最後に期待いたしまして、御礼の言葉にかえさせていただきます。ありがとうございました。

長田(祥)議長

では、6月定例会を終了します。2年間ありがとうございました。

\*\*\*\*\*午前11時57分 閉会 \*\*\*\*\*